

網走ほんりゅう組

第413号
網走教職員組合
〒090-0836
北海道北見市東三輪1丁目83-35
TEL.0157(31)7551
FAX 0157(31)7559
9月23日

教育全国署名 網走教組スタート集会



九月六日(土)、網走教組のスタート集会を行いました。まず、十一時から三輪のコープさつぽろ前で街頭署名を行いました。参加者は五名(うち一名は道教

でもありません。私たちの訴えに、多くの人たちが賛同してくださり、今回の署名で、八五筆の署名が集まりました。



組の榎木書記長)と少なかつたですが、買い物に来る人たちに、三〇人学級や教育費無償化の前進を訴えながら、元気いっぱい署名活動を行いました。今、学校では、全国的に増えてきている困難を抱える子どもたちに向き合い、人間として豊かに成長できる環境をどうつくっていくかが緊急な課題です。また、貧困の広がりの中で、教育費の負担も大きくなっています。子ども達の教育条件を整えていくことは、私たち教職員だけでなく、国民全体の願い

その後、本部事務所で、道教組の榎木書記長から、今年度の教育全国署名に関する情勢の話をしてもらいました。その中で、「二三年間で、全国で四億一千万筆の署名を集め、小学校一・二年生の五人以下学級の実現と、高校授業料の無償化実現などに貢献してきた。」ことと、全国の自治体独自で行っている少人数学級の取り組みについての報告がされました。網走教組では、この「教育全国署名」の取り組みを、結成以来二十年間続けてきました。そして、この二十年間の間に、個人から集団の取り組みへ、そして、高教組と共同の取り組みへと発展させてきました。今年度も、多くの人たちに訴えながら、教育条件を拡大させるために奮闘していきましょう。

道教組中央委員会に参加して

道教組の中央委員会が9月13日(土)に行われ、山本が網走教組の委員として参加してきました。委員長挨拶では、安倍政権の破たんについて話がされ、子どもたちが希望を持って暮らしていくために、学力テストに代表される管理・競争教育をこれ以上進ませないための取組をしていくことが提起されました。

討論では各単組からの提起があり、網走教組は、夏の合宿研での「特別な支援を要する子をどう理解していくか」の学習会を行い、それに関わって、子どもたちを受け止め、信頼関係を作り上げることが今の学校では大切ではないかという内容の発言をしてきました。

各単組からの発言では、日高からの「沖縄が学力テストで大幅得点アップした裏側」の話が特に印象的でした。沖縄では県教委に文科省から指導官が配置され、学力テスト対策が激しく推し進められたそうです。毎月の過去問の取り組み、点数の報告の義務化、教科指導そっちのけでの繰り返しドリル学習の推進、時数確保で家庭訪問の夏休み中実施、2月に行われる平和学習・学芸会の簡素化、職員会議や打ち合わせを極力行わない、管理統制を強めるための無言清掃の強制…。その結果、点数は上がりましたが、子どもたちが荒れ、不登校が増加し、学校の雰囲気も荒んだものになっているそうです。

今回中央委員会に参加し、オホーツク管内だけでなく、全道、全国で学校のゆがみが進んでいると感じました。網走教組が考える「子どもたちにつけたい本当の学力」を授業で実践していき、子どもたち一人一人が安心して通える学校づくりを、私たちが進めていくことの大切さを改めて考えさせられました。(文責 山本)

査定昇給制度 これでは活力が生まれるのでしょうか

今回提示された「査定昇給制度」の主な内容は、次の通りです。
①上位区分は、A区分(極めて良好/八号俸)とB区分(特に良好/六号俸)があるが、当分の間はB区分のみの運用とする。
※上位区分Aは、生涯賃金が開き過ぎるというところで人事院からクレームが出されていた。これからの法改正なども考えられ、当分の間は使わないことにしよう。
②また、上位区分は、初任層(八年未満)と初任層以外を分けず、統合して対象者総数の三〇%程度の範囲内で教育局管内ごとに職位(校長、教頭、それ以外の職員)別に決定・配分する。
③査定昇給の対象外職員は、非常勤職員と再任用職員と最高号俸に達している職員。
※期限付教諭は査定対象だが、上位区分の適用はありません。
④昇給日は今までどおりの一月一日。判定期間は前々年十二月二日から前年十二月一日。(ただし、初回の平成二七年一月一日昇給にかかわる判定期間は、平成二六年一月一日から十二月一日まで。)
⑤判定には「要素別判定」と「総合判定」があり、さらに「公務貢献」に関する加点点目がある。「要素別判定」は「業績」「意欲・姿勢」「能力」があり、二百点満点。職位により要素ごとに配点が異なる。「総合判定」は、B(特に良好)、C(良好)、D(やや良好でない)、E(良好でない)ごとに基準がある。「公務貢献」は、国等の団体へ派遣された、その後復帰、高度へき地以上の学校(三級以上)に相当期間勤務した場合に「公務に対する貢献が顕著に認められる」として加点点される。
先生方が力を合わせて教育活動を行っている中で、この様な評価は学校現場に相いれず、教員を分断していくものではないかと感じます。査定昇給に関わっては、十月六日(月)を最終交渉日に設定して道教委との間で、事務折衝が進行中です。疑問点やご意見があれば網走教組本部までお寄せください。

網走教組中央委員会
2014年10月4日(土) 13:00~
オホーツク木のプラザ
・討議の柱を参考に、発言の準備をお願いします。
・参加できない方は、委任状を届けてください。

一人で悩まないで、お電話を!
「学校に行きたくない」「やめたい」という…
発達におくれが…? いじめられる! 等々
北海道子どもセンター (札幌市東区北9条東1丁目2-22)
携帯電話からは011-733-6606へ
0120-603406
子育て・教育電話相談 月~金(13:00~17:00)

